

資料 1

セーフコミュニティ年間スケジュール【令和4年度～令和5年度】

※セーフコミュニティ国際認証(再々認証)の取得を想定した場合のスケジュール

1. 報告事項 (1)

業 務		R4年度												R5年度											
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
SC推進組織						● 調整 会議	● 本部 会議 ①推進協議会 ・R3実績R4方針 ・事前指導の内容・日程 ・プレゼン資料			再々 認証 事前 指導	年間活動 報告書 (本番) ②推進協議会				● 調整 会議	● 本部 会議 ①推進協議会 ・R4実績R5方針 ・現地審査の内容・日程 ・プレゼン資料 ・申請書提出(7月)		再々 認証 現地 審査	(本番) ②推進協議会			● 協議会委員の改選	年間活動 報告書		
対策委員会		対 策 委 員 会		5～6月中旬 ①対策委員会 ・R3実績R4方針 ・事前指導の内容・日程 ・ワークショップ ・ <u>プレゼン資料案</u>		7月下旬～8月 対策委員会 (正副委員長) ・事前指導に向けて ・ <u>プレゼン資料(最終)</u> ● 委員の改選		本番直前 委員長リハ	(本番) ②対策委員会		③対策委員会 ・ワークショップ ・事前指導の講評 について			4月20日頃まで ①対策委員会 ・R4実績R5方針 ・現地審査の内容・日程 ・ワークショップ ・ <u>プレゼン資料案</u>		本番直前 委員長リハ	(本番) ②対策委員会		R5年度内に開催 ③対策委員会 ・現地審査の講評について						
外傷等 動向調査委員会			書面開催	①外傷委員会 ・各対策委員会の 状況報告 ・ <u>プレゼン資料(案)</u>		②外傷委員会 (正副委員長) ・事前指導に向けて ・ <u>プレゼン資料(最終)</u> ● 委員の改選		本番直前 委員長リハ	(本番) ②外傷委員会		③外傷委員会 ・事前指導の講評 について		4月20日頃まで ①外傷委員会 ・各対策委員会の 状況報告 ・ <u>プレゼン資料(案)</u>		本番直前 委員長リハ	(本番) ②外傷委員会	R5年度内に開催 ③外傷委員会 ・現地審査の講評について								
申請書								(案) 申請書 申請書作成準備		12月～1月 申請書(案)作成		JISCと調整	3月 [各事務局] ・加筆修正	JISCとの調整期間 2回目(最終) 4月末 日本語版 確定	5月 英訳	6月 申請書 提出									
プレゼン資料					対策委員会後 プレゼン資料 提出 ⇒JISCと調整①		JISCと 調整②(最終) 9月末 日本語版 確定	英訳	10月末 英訳版 完成			2～4月 現地指導に向けて プレゼン資料修正 JISCと調整	JISCとの調整期間(最終) 5月末 日本語版 確定	英訳	7月 日本語版・ 英訳版 完成										
広 報	You tube				外 傷		防 犯		交通安全		防 災		自殺予防		DV防止		児童虐待 防止		学校安全		高齢者の 安全				
	広 報 く る め					外 傷		防 犯		交通安全		防 災		自殺予防		DV防止		児童虐待 防止		学校安全		高齢者の 安全			
	SC 通 信				標語募集	外 傷		防 犯		交通安全		防 災		自殺予防		DV防止		児童虐待 防止		学校安全		高齢者の 安全			

久留米市
セーフコミュニティに関する実態調査
報告書



令和 3 年 10 月
久留米市

2 「安全・安心の取り組み」について

久留米市セーフコミュニティに関する実態調査報告書について

1. 久留米市セーフコミュニティに関する実態調査

(1) 調査の目的

ケガや事故の予防を目的とした市民、関係機関、団体との協働による「セーフコミュニティ」活動に取り組むことにより、「みんなが安全に安心して暮らせるまちづくり」を目指している。本調査は、本市のセーフコミュニティの取り組みの基礎資料として、市民の経験や考えなどを把握するため

(2) 調査の概要

- * 調査対象者・・・久留米市に在住する 15 歳以上の男女 2,500 人
- * 抽出方法・・・住民基本台帳から、層化二段無作為抽出
- * 調査方法・・・調査票を郵送し、郵送又はインターネットで回収を行う
- * 調査期間・・・令和 3 年 6 月 16 日～6 月 30 日
- * 回収数（率）・・・1,275 票（51.0%）
内、郵送 983 票、インターネット 292 票

(3) 調査テーマ

- ①「主なケガ」について
- ②「安全・安心の取り組み」について
- ③「交通安全」について
- ④「児童虐待防止」について
- ⑤「高齢者の安全」について
- ⑥「DV 防止」について
- ⑦「犯罪の防止・防犯力の向上」について
- ⑧「自殺予防」について
- ⑨「防災」について
- ⑩「その他」

2 「安全・安心の取り組み」について

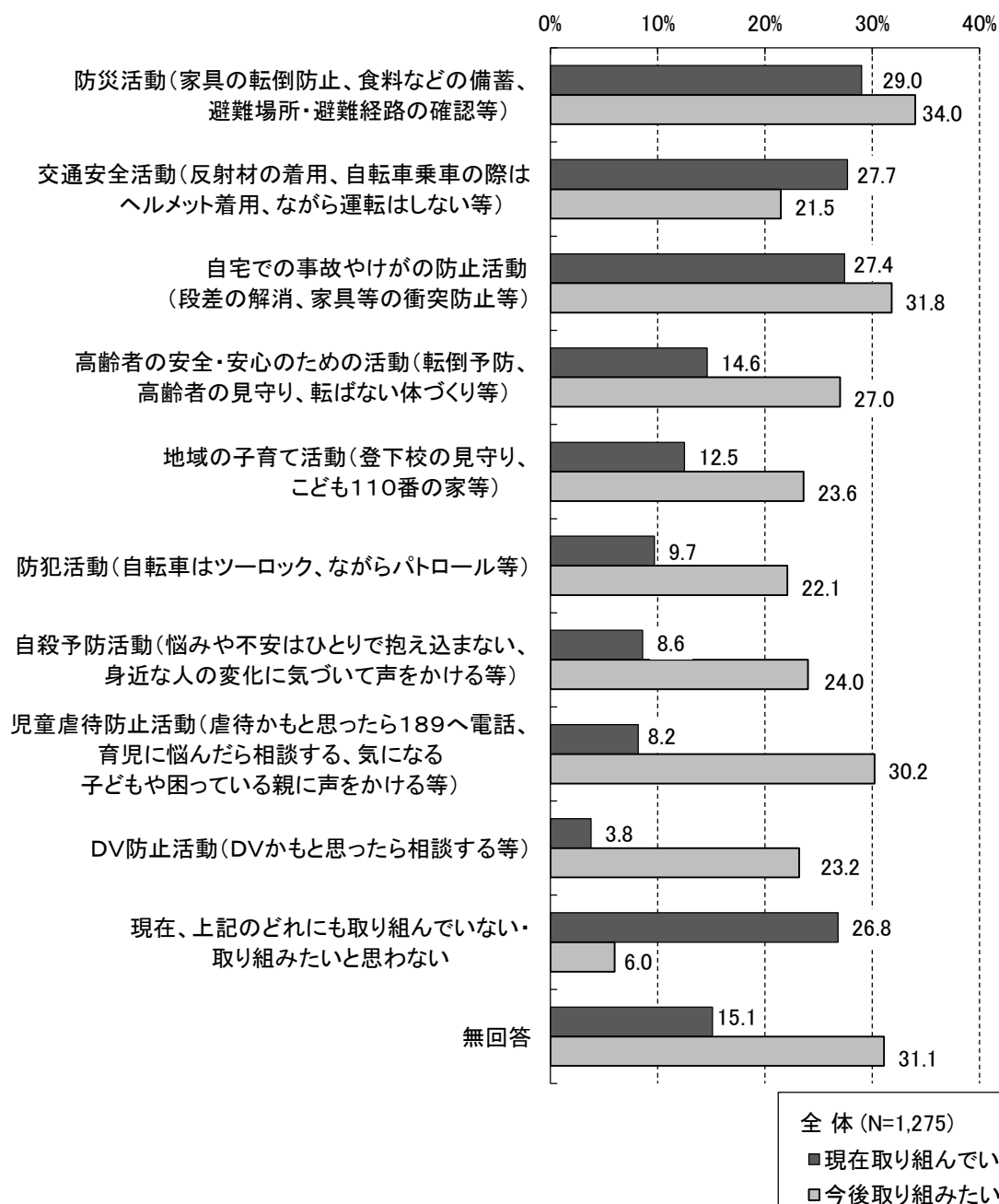
(13) 現在取り組んでいる、今後取り組みたい安全・安心の取り組み

問 3-1. あなたの安全・安心の取り組みについて、該当するものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

現在、「防災活動」に取り組んでいる人は 3 割弱

今後、「防災活動」に取り組みたい人は 3 割強

- 現在取り組んでいる安全・安心の取り組みについて、「防災活動」が 29.0%で最も高く、「交通安全活動」が 27.7%と続く。
- 今後取り組みたい安全・安心の取り組みについて、「防災活動」が 34.0%で最も高く、「自宅での事故やけがの防止活動」が 31.8%と続く。



2 「安全・安心の取り組み」について

【属性別特徴】[現在取り組んでいるもの]

◆表 ブロック別◆

	サンプル数	の防災活動（家具の転倒防止、避難経路料などの備蓄、避難場所・避難経路料）	交通安全活動（反射材の着用、自転車乗車の際はヘルメット着用、自転車乗車の際はヘルメット着用、自転車乗車の際はヘルメット着用）	自宅での事故やけがの防止活動（家具等の衝突防止等）	高齢者の安全・安心のための活動（高齢者の安全・安心のための活動）	地域の子育て活動（登下校の見守り、こども110番の家等）	防犯活動（自転車はツーロック、ながらパトロール等）	化に抱え込まずに声をかける等）	自給自足活動（悩みや不安はひとりで抱え込まずに声をかける等）	や困っている親に声をかける等）	児童虐待防止活動（虐待かもと思ったら189へ電話、育児にも悩んだり相談する、気になる子どもに悩んでいる親に声をかける等）	DV防止活動（DVかもと思ったら相談する等）	現在、上記のどれにも取り組んでいない	無回答
全 体	1,275 100.0	370 29.0	353 27.7	349 27.4	186 14.6	159 12.5	124 9.7	110 8.6	105 8.2	48 3.8	342 26.8	192 15.1		
ブロック別	東部A	91 100.0	28 30.8	30 33.0	24 26.4	23 25.3	25 27.5	9 9.9	8 8.8	7 7.7	3 3.3	18 19.8	20 22.0	
	東部B	80 100.0	19 23.8	28 35.0	19 23.8	19 23.8	21 26.3	7 8.8	10 12.5	12 15.0	2 2.5	11 13.8	18 22.5	
	北部A	113 100.0	35 31.0	30 26.5	36 31.9	17 15.0	16 14.2	13 11.5	10 8.8	6 5.3	5 4.4	31 27.4	11 9.7	
	北部B	72 100.0	15 20.8	13 18.1	15 20.8	4 5.6	5 6.9	5 6.9	8 11.1	7 9.7	3 4.2	27 37.5	14 19.4	
	中央東部	140 100.0	40 28.6	39 27.9	41 29.3	12 8.6	12 8.6	11 7.9	9 6.4	14 10.0	4 2.9	35 25.0	25 17.9	
	南東部	108 100.0	32 29.6	29 26.9	24 22.2	20 18.5	8 7.4	7 6.5	15 13.9	7 6.5	4 3.7	32 29.6	12 11.1	
	中央部	177 100.0	58 32.8	47 26.6	46 26.0	18 10.2	15 8.5	19 10.7	10 5.6	14 7.9	9 5.1	61 34.5	17 9.6	
	中央南部	205 100.0	62 30.2	68 33.2	63 30.7	27 13.2	20 9.8	25 12.2	19 9.3	20 9.8	11 5.4	54 26.3	25 12.2	
	南西部	125 100.0	38 30.4	27 21.6	37 29.6	20 16.0	19 15.2	14 11.2	8 6.4	4 3.2	3 2.4	28 22.4	17 13.6	
	西部A	55 100.0	12 21.8	11 20.0	15 27.3	10 18.2	9 16.4	5 9.1	3 5.5	4 7.3	1 1.8	15 27.3	13 23.6	
	西部B	74 100.0	20 27.0	20 27.0	17 23.0	9 12.2	4 5.4	7 9.5	6 8.1	5 6.8	2 2.7	21 28.4	14 18.9	

【属性別特徴】[今後取り組みたいもの]

◆表 ブロック別◆

	サンプル数	の防災活動（家具の転倒防止、避難経路料などの備蓄、避難場所・避難経路料）	交通安全活動（反射材の着用、自転車乗車の際はヘルメット着用、自転車乗車の際はヘルメット着用）	自宅での事故やけがの防止活動（家具等の衝突防止等）	高齢者の安全・安心のための活動（高齢者の安全・安心のための活動）	地域の子育て活動（登下校の見守り、こども110番の家等）	防犯活動（自転車はツーロック、ながらパトロール等）	化に抱え込まずに声をかける等）	自給自足活動（悩みや不安はひとりで抱え込まずに声をかける等）	や困っている親に声をかける等）	児童虐待防止活動（虐待かもと思ったら189へ電話、育児にも悩んだり相談する、気になる子どもに悩んでいる親に声をかける等）	DV防止活動（DVかもと思ったら相談する等）	今後、上記のどれにも取り組みたい	無回答
全 体	1,275 100.0	433 34.0	405 31.8	385 30.2	344 27.0	306 24.0	301 23.6	296 23.2	282 22.1	274 21.5	76 6.0	397 31.1		
ブロック別	東部A	91 100.0	32 35.2	36 39.6	30 33.0	20 22.0	23 25.3	18 19.8	20 22.0	16 17.6	2 2.2	29 31.9		
	東部B	80 100.0	29 36.3	31 38.8	21 26.3	18 22.5	17 21.3	16 20.0	20 25.0	15 18.8	4 5.0	23 28.8		
	北部A	113 100.0	35 31.0	34 30.1	36 31.9	31 27.4	26 23.0	33 29.2	28 24.8	25 22.1	8 7.1	33 29.2		
	北部B	72 100.0	22 30.6	19 26.4	21 29.2	18 25.0	11 15.3	10 13.9	6 8.3	9 12.5	7 9.7	26 36.1		
	中央東部	140 100.0	54 38.6	44 31.4	33 23.6	36 25.7	31 22.1	30 21.4	28 20.0	32 22.9	9 6.4	40 28.6		
	南東部	108 100.0	31 28.7	37 34.3	33 30.6	33 30.6	28 25.9	28 25.9	29 26.9	31 28.7	9 8.3	34 31.5		
	中央部	177 100.0	66 37.3	55 31.1	55 31.1	54 30.5	50 28.2	46 26.0	48 27.1	42 23.7	8 4.5	52 29.4		
	中央南部	205 100.0	65 31.7	60 29.3	74 36.1	62 30.2	49 23.9	57 27.8	51 24.9	48 23.4	18 8.8	57 27.8		
	南西部	125 100.0	47 37.6	39 31.2	41 32.8	32 25.6	32 23.2	30 24.0	31 24.8	26 20.8	4 3.2	42 33.6		
	西部A	55 100.0	15 27.3	13 23.6	12 21.8	9 16.4	10 18.2	6 10.9	6 10.9	6 10.9	3 5.5	23 41.8		
	西部B	74 100.0	25 33.8	25 33.8	21 28.4	20 27.0	20 27.0	17 23.0	17 23.0	18 24.3	3 4.1	24 32.4		

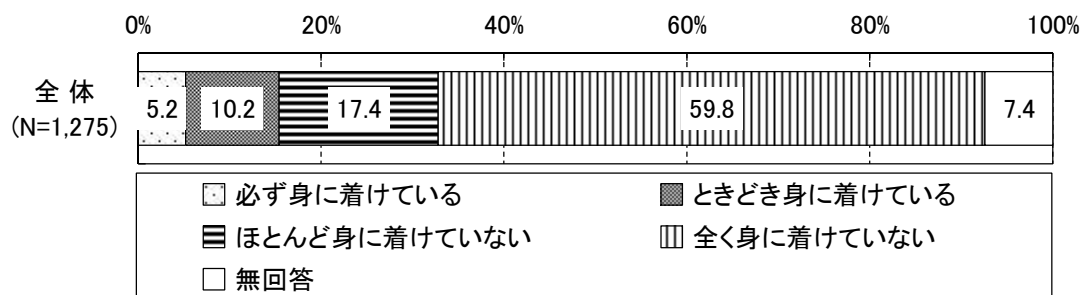
3 「交通安全」について

(14) 反射材の着用状況

問 4. あなたは、夜間外出するとき、反射材（反射バンドや反射タスキなど）を身につけていますか。（○はひとつ）

反射材を「全く身に着けていない」人は6割弱

●反射材の着用状況について、「全く身に着けていない」が59.8%で最も高い。



【属性別特徴】

- 「全く身に着けていない」の割合を性別・年代別でみると、男性・35～64歳、女性・30～44歳、女性・50～54歳が、全体の割合に比べて高い。
- 「全く身に着けていない」の割合を自治会の加入状況別でみると、自治会に加入していない人が全体の割合に比べて高い。
- 「全く身に着けていない」の割合をブロック別でみると、中央東部、中央部が、全体の割合に比べて高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	必ず身に着けている	ときどき身に着けている	ほとんど身に着けていない	全く身に着けていない	無回答
全 体		1,275 100.0	66 5.2	130 10.2	222 17.4	763 59.8	94 7.4
性別	男性	491 100.0	26 5.3	53 10.8	95 19.3	297 60.5	20 4.1
	女性	766 100.0	38 5.0	75 9.8	125 16.3	459 59.9	69 9.0
性別・年代別	15～19歳 男性	21 100.0	2 9.5	5 23.8	7 33.3	7 33.3	0 0.0
	15～19歳 女性	27 100.0	1 3.7	1 3.7	6 22.2	19 70.4	0 0.0
	20～24歳 男性	18 100.0	1 5.6	2 11.1	1 5.6	14 77.8	0 0.0
	20～24歳 女性	24 100.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	22 91.7	0 0.0
	25～29歳 男性	17 100.0	2 11.8	2 11.8	3 17.6	10 58.8	0 0.0
	25～29歳 女性	28 100.0	1 3.6	1 3.6	2 7.1	24 85.7	0 0.0
	30～34歳 男性	19 100.0	1 5.3	1 5.3	2 10.5	15 78.9	0 0.0
	30～34歳 女性	38 100.0	3 7.9	3 7.9	5 13.2	27 71.1	0 0.0
	35～39歳 男性	33 100.0	1 3.0	4 12.1	3 9.1	25 75.8	0 0.0
	35～39歳 女性	59 100.0	2 3.4	4 6.8	12 20.3	41 69.5	0 0.0
	40～44歳 男性	32 100.0	3 9.4	0 0.0	5 15.6	24 75.0	0 0.0
	40～44歳 女性	71 100.0	2 2.8	10 14.1	6 8.5	51 71.8	2 2.8
	45～49歳 男性	43 100.0	1 2.3	3 7.0	7 16.3	32 74.4	0 0.0
	45～49歳 女性	61 100.0	3 4.9	3 18.0	12 19.7	35 57.4	0 0.0
	50～54歳 男性	40 100.0	1 2.5	5 12.5	6 15.0	28 70.0	0 0.0
	50～54歳 女性	50 100.0	1 2.0	4 8.0	9 18.0	35 70.0	1 2.0
	55～59歳 男性	35 100.0	1 2.9	5 14.3	5 14.3	23 65.7	1 2.9
	55～59歳 女性	63 100.0	3 4.8	8 12.7	12 19.0	37 58.7	3 4.8
	60～64歳 男性	56 100.0	3 5.4	2 3.6	11 19.6	38 67.9	2 3.6
	60～64歳 女性	65 100.0	4 6.2	6 9.2	13 20.0	39 60.0	3 4.6
	65～69歳 男性	46 100.0	0 0.0	6 13.0	10 21.7	28 60.9	2 4.3
	65～69歳 女性	75 100.0	2 2.7	7 9.3	15 20.0	45 60.0	6 8.0
	70～74歳 男性	61 100.0	3 4.9	6 9.8	17 27.9	30 49.2	5 8.2
	70～74歳 女性	87 100.0	7 8.0	7 8.0	18 20.7	37 42.5	18 20.7
	75～79歳 男性	29 100.0	5 17.2	8 27.6	3 10.3	10 34.5	3 10.3
	75～79歳 女性	53 100.0	3 5.7	6 11.3	6 11.3	21 39.6	17 32.1
	80歳以上 男性	36 100.0	2 5.6	4 11.1	13 36.1	11 30.6	6 16.7
	80歳以上 女性	62 100.0	5 8.1	5 8.1	8 12.9	25 40.3	19 30.6

◆表 自治会の加入状況別◆

		サンプル数	必ず身に着けている	ときどき身に着けている	ほとんど身に着けていない	全く身に着けていない	無回答
全 体		1,275 100.0	66 5.2	130 10.2	222 17.4	763 59.8	94 7.4
自治会加入状況	加入している	1,033 100.0	59 5.7	112 10.8	190 18.4	592 57.3	80 7.7
	加入していない	130 100.0	4 3.1	10 7.7	12 9.2	98 75.4	6 4.6

◆表 ブロック別◆

		サンプル数	必ず身に着けている	ときどき身に着けている	ほとんど身に着けていない	全く身に着けていない	無回答
全 体		1,275 100.0	66 5.2	130 10.2	222 17.4	763 59.8	94 7.4
ブロック別	東部 A	91 100.0	3 3.3	20 22.0	11 12.1	50 54.9	7 7.7
	東部 B	80 100.0	4 5.0	9 11.3	19 23.8	37 46.3	11 13.8
	北部 A	113 100.0	6 5.3	9 8.0	25 22.1	70 61.9	3 2.7
	北部 B	72 100.0	0 0.0	11 15.3	12 16.7	43 59.7	6 8.3
	中央東部	140 100.0	11 7.9	11 7.9	15 10.7	96 68.6	7 5.0
	南東部	108 100.0	6 5.6	10 9.3	21 19.4	65 60.2	6 5.6
	中央部	177 100.0	3 1.7	11 6.2	35 19.8	120 67.8	8 4.5
	中央南部	205 100.0	16 7.8	16 7.8	40 19.5	122 59.5	11 5.4
	南西部	125 100.0	9 7.2	11 8.8	15 12.0	75 60.0	15 12.0
	西部 A	55 100.0	3 5.5	9 16.4	10 18.2	28 50.9	5 9.1
	西部 B	74 100.0	4 5.4	9 12.2	13 17.6	38 51.4	10 13.5

3 「交通安全」について

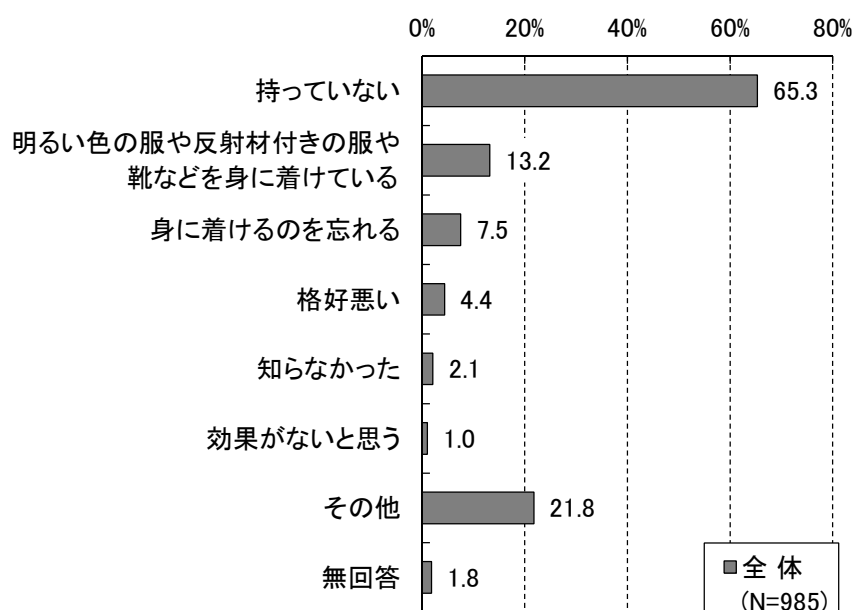
(15) 反射材を着用していない理由

【問4で「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。】

問4-1. あなたが反射材を身に着けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

反射材を「持っていない」人は7割弱

- 反射材を着用していない理由について、「持っていない」が65.3%で最も高い。
- その他の内訳について、「夜間（1人で）外出しない」や「夜間の移動は車」、「ライトを持って外出」などの意見がみられた。



【属性別特徴】

- 「持っていない」の割合を性別で見ると、男性が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	持っていない	明るい色の服や靴などを身に付けている	身に着けるのを忘れる	格好悪い	知らなかった	効果がないと思う	その他	無回答
全 体		985 100.0	643 65.3	130 13.2	74 7.5	43 4.4	21 2.1	10 1.0	215 21.8	18 1.8
性別	男性	392 100.0	280 71.4	52 13.3	27 6.9	12 3.1	10 2.6	5 1.3	67 17.1	5 1.3
	女性	584 100.0	355 60.8	77 13.2	47 8.0	29 5.0	10 1.7	4 0.7	148 25.3	13 2.2
性別・年代別	15～19歳	男性	14 100.0	9 64.3	2 14.3	3 21.4	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1
		女性	25 100.0	16 64.0	1 4.0	5 20.0	3 12.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0
	20～24歳	男性	15 100.0	11 73.3	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3
		女性	22 100.0	20 90.9	0 0.0	2 9.1	3 13.6	0 0.0	1 4.5	2 9.1
	25～29歳	男性	13 100.0	12 92.3	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	26 100.0	18 69.2	6 23.1	2 7.7	3 11.5	1 3.8	0 0.0	2 7.7
	30～34歳	男性	17 100.0	13 76.5	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	2 11.8	1 5.9
		女性	32 100.0	21 65.6	4 12.5	4 12.5	5 15.6	0 0.0	0 0.0	8 25.0
	35～39歳	男性	28 100.0	23 82.1	4 14.3	1 3.6	2 7.1	0 0.0	0 0.0	4 14.3
		女性	53 100.0	35 66.0	5 9.4	5 9.4	4 7.5	0 0.0	1 1.9	12 22.6
	40～44歳	男性	29 100.0	23 79.3	3 10.3	1 3.4	3 10.3	2 6.9	0 0.0	4 13.8
		女性	57 100.0	34 59.6	9 15.8	7 12.3	4 7.0	0 0.0	0 0.0	10 17.5
	45～49歳	男性	39 100.0	28 71.8	6 15.4	4 10.3	2 5.1	2 5.1	2 5.1	7 17.9
		女性	47 100.0	22 46.8	9 19.1	9 19.1	4 8.5	0 0.0	1 2.1	12 25.5
	50～54歳	男性	34 100.0	27 79.4	2 5.9	0 0.0	2 5.9	1 2.9	0 0.0	7 20.6
		女性	44 100.0	25 56.8	7 15.9	4 9.1	1 2.3	1 2.3	0 0.0	12 27.3
	55～59歳	男性	28 100.0	21 75.0	3 10.7	3 10.7	1 3.6	1 3.6	0 0.0	3 10.7
		女性	49 100.0	31 63.3	6 12.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 30.6
	60～64歳	男性	49 100.0	29 59.2	12 24.5	4 8.2	0 0.0	1 2.0	0 0.0	8 16.3
		女性	52 100.0	33 63.5	9 17.3	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 34.6
	65～69歳	男性	38 100.0	31 81.6	5 13.2	3 7.9	1 2.6	0 0.0	0 0.0	6 15.8
		女性	60 100.0	34 56.7	13 21.7	3 5.0	1 1.7	1 1.7	0 0.0	17 28.3
	70～74歳	男性	47 100.0	31 66.0	5 10.6	1 2.1	0 0.0	2 4.3	0 0.0	13 27.7
		女性	55 100.0	37 67.3	4 7.3	0 0.0	1 1.8	3 5.5	0 0.0	14 25.5
	75～79歳	男性	13 100.0	5 38.5	2 15.4	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 46.2
		女性	27 100.0	15 55.6	1 3.7	3 11.1	0 0.0	2 7.4	0 0.0	8 29.6
	80歳以上	男性	24 100.0	14 58.3	4 16.7	2 8.3	0 0.0	1 4.2	0 0.0	5 20.8
		女性	33 100.0	13 39.4	3 9.1	2 6.1	0 0.0	2 6.1	0 0.0	16 48.5

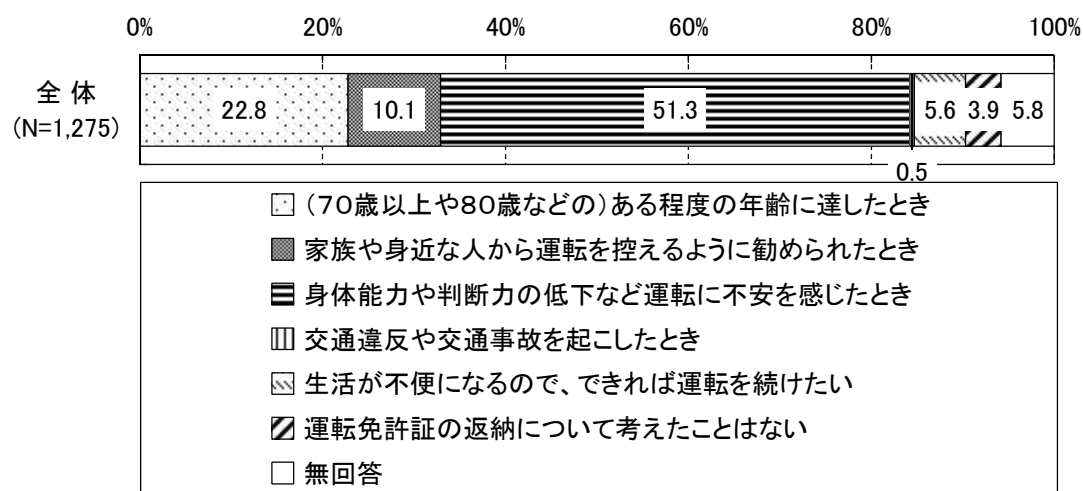
3 「交通安全」について

(16) 運転免許証の返納したほうがいいと思う状態

問 5. あなたは、どのような状態になったら、運転免許証を返納したほうがいい（免許更新しないことを含む）と思いますか。（あなたの考えにもっとも近いものひとつに○）

「身体能力や判断力の低下など運転に不安を感じたとき」運転免許証を返納したほうがいいと思う人は5割強

- 運転免許証の返納したほうがいいと思う状態について、「身体能力や判断力の低下など運転に不安を感じたとき」が51.3%で最も高い。



【属性別特徴】

- 「身体能力や判断力の低下など運転に不安を感じたとき」の割合を性別・年代別でみると、男性・50～59歳、男性・65～74歳、女性・40～59歳が、全体の割合に比べて高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	たの（70歳以上の年齢に達し	き控（家族や身近な人から運転を	ど身体能力や判断力の低下	起交通違反や交通事故を	で生活が不便になるのを、できれば運転を続けたい	考えたことは返納について	無回答
全 体		1,275 100.0	291 22.8	129 10.1	654 51.3	6 0.5	71 5.6	50 3.9	74 5.8
性別	男性	491 100.0	88 17.9	51 10.4	266 54.2	2 0.4	42 8.6	26 5.3	16 3.3
	女性	766 100.0	201 26.2	76 9.9	380 49.6	4 0.5	27 3.5	23 3.0	55 7.2
性別・年代別	15～19歳	21 100.0	4 19.0	4 19.0	12 57.1	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0
	女性	27 100.0	8 29.6	2 7.4	14 51.9	0 0.0	0 0.0	2 7.4	1 3.7
	20～24歳	18 100.0	5 27.8	3 16.7	9 50.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0
	女性	24 100.0	7 29.2	4 16.7	11 45.8	0 0.0	0 0.0	2 8.3	0 0.0
	25～29歳	17 100.0	2 11.8	5 29.4	9 52.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0
	女性	28 100.0	6 21.4	2 7.1	20 71.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30～34歳	19 100.0	5 26.3	3 15.8	9 47.4	0 0.0	0 0.0	2 10.5	0 0.0
	女性	38 100.0	12 31.6	2 5.3	21 55.3	0 0.0	0 0.0	2 5.3	1 2.6
	35～39歳	33 100.0	7 21.2	5 15.2	16 48.5	0 0.0	2 6.1	2 6.1	1 3.0
	女性	59 100.0	16 27.1	9 15.3	29 49.2	0 0.0	2 3.4	2 3.4	1 1.7
	40～44歳	32 100.0	7 21.9	4 12.5	17 53.1	0 0.0	0 0.0	3 9.4	1 3.1
	女性	71 100.0	13 18.3	10 14.1	40 56.3	2 2.8	2 2.8	2 2.8	2 2.8
	45～49歳	43 100.0	11 25.6	4 9.3	24 55.8	0 0.0	4 9.3	0 0.0	0 0.0
	女性	61 100.0	9 14.8	6 9.8	41 67.2	1 1.6	2 3.3	1 1.6	1 1.6
	50～54歳	40 100.0	5 12.5	7 17.5	23 57.5	0 0.0	2 5.0	1 2.5	2 5.0
	女性	50 100.0	15 30.0	3 6.0	31 62.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0
	55～59歳	35 100.0	6 17.1	2 5.7	20 57.1	0 0.0	5 14.3	2 5.7	0 0.0
	女性	63 100.0	18 28.6	5 7.9	36 57.1	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6
	60～64歳	56 100.0	11 19.6	5 8.9	28 50.0	1 1.8	4 7.1	5 8.9	2 3.6
	女性	65 100.0	19 29.2	10 15.4	32 49.2	0 0.0	2 3.1	1 1.5	1 1.5
	65～69歳	46 100.0	6 13.0	2 4.3	28 60.9	0 0.0	6 13.0	3 6.5	1 2.2
	女性	75 100.0	25 33.3	6 8.0	36 48.0	0 0.0	1 1.3	4 5.3	3 4.0
	70～74歳	61 100.0	8 13.1	1 1.6	38 62.3	0 0.0	8 13.1	4 6.6	2 3.3
	女性	87 100.0	24 27.6	4 4.6	40 46.0	0 0.0	6 6.9	2 2.3	11 12.6
	75～79歳	29 100.0	4 13.8	3 10.3	16 55.2	0 0.0	4 13.8	1 3.4	1 3.4
	女性	53 100.0	9 17.0	3 5.7	17 32.1	0 0.0	7 13.2	0 0.0	17 32.1
	80歳以上	36 100.0	5 13.9	3 8.3	15 41.7	1 2.8	5 13.9	1 2.8	6 16.7
	女性	62 100.0	18 29.0	10 16.1	11 17.7	0 0.0	3 4.8	4 6.5	16 25.8

第 44 回（令和 3 年度）

久留米市民意識調査 報告書

令和 4 年 3 月

久 留 米 市

I 調査の概要

1 調査の目的

変化する市民意識の動向と現在の多様な市民ニーズを科学的、統計的に把握し、今後の市の施策・事業の検討、推進、評価の基礎データとして活用することを目的としている。

2 調査の方法

(1) 調査地域	久留米市全域
(2) 調査対象者	久留米市に在住する満 18 歳以上の人
(3) サンプル数	5,000 人
(4) 抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
(5) 調査方法	郵送調査
(6) 調査期間	令和 3 年 7 月 27 日から令和 3 年 8 月 16 日
(7) 回収数 (%)	2,194 票 (43.9%)
(8) 調査の企画と実施	企画 久留米市協働推進部広聴・相談課 実施 株式会社名豊

3 調査項目

今回の調査は、1. 行政施策、2. 情報発信、3. 地域コミュニティ活動、4. セーフコミュニティ、5. 在宅医療・介護の意識、6. 新型コロナウイルス感染症の影響という 6 つのテーマについて実施した。

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 行政施策 | 久留米市の住みやすさ、愛着度、定住意向、市の情報発信などについて調査し、久留米市新総合計画に掲げる施策の達成状況を把握するための基礎資料として活用とする。 |
| 2. 情報発信 | 広報紙やホームページの閲覧頻度、SNS の利用状況などについて調査し、久留米市の効果的な情報発信方法を検討するための基礎資料として活用する。 |
| 3. 地域コミュニティ活動 | 自治会への加入状況、地域コミュニティ活動の認知度と参加意向、地域コミュニティへ期待することを調査し、地域コミュニティの活性化を図るための基礎資料として活用する。 |
| 4. セーフコミュニティ | 久留米市が取り組んでいるセーフコミュニティについての認知度、暮らしでの不安感、防災・防犯への取り組み、不安・悩みの状況を把握し、安全安心なまちづくりを実現するための基礎資料とする。 |
| 5. 在宅医療・介護の意識 | ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の認知度、人生の最終段階の希望、看取りの状況について把握し、在宅医療・介護の連携の為の施策策定の基礎資料とする。 |
| 6. 新型コロナウイルス感染症の影響 | 新型コロナウイルス感染症が流行する中での生活の変化、生活での困り事などを把握する。 |

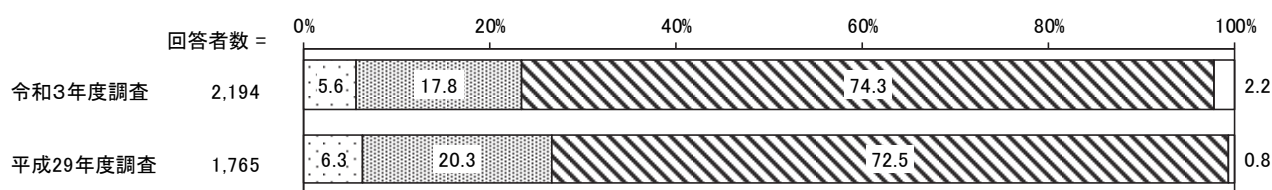
(7) 安全安心のまちづくり「セーフコミュニティ」について

問 28 あなたは、久留米市が、セーフコミュニティ国際認証を取得して「安全安心のまちづくり」に取り組んでいることを知っていますか。
(あてはまる番号 1 つだけ)

「知らない」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 17.8%となっています。

【経年比較】

大きな差異はみられません。



☐ 取り組んでいることを知っている ☐ 聞いたことがある ☐ 知らない ☐ 無回答

【性別】

大きな差異はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	取り組んでいる ことを知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	2,194	5.6	17.8	74.3	2.2
男性	939	6.6	17.9	73.8	1.7
女性	1,239	4.9	17.8	74.8	2.4

【年齢別】

年齢が高くなるにつれて「聞いたことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	取り組んでいる ことを知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	2,194	5.6	17.8	74.3	2.2
18～29 歳	171	4.7	10.5	83.6	1.2
30 歳代	253	7.1	11.1	81.4	0.4
40 歳代	368	4.3	12.2	81.3	2.2
50 歳代	382	3.7	14.7	80.4	1.3
60～64 歳	235	6.0	22.6	69.8	1.7
65～69 歳	284	5.6	22.2	70.4	1.8
70～74 歳	293	7.5	25.9	62.1	4.4
75 歳以上	197	7.6	25.4	61.9	5.1

【ブロック別】

他に比べ、「西部 A（城島）」で「聞いたことがある」の割合が、「東部 B（田主丸）」「北部 A」で「知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	取り組んでいる ことを知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	2,194	5.6	17.8	74.3	2.2
東部 A	144	4.2	18.1	75.7	2.1
東部 B（田主丸）	131	6.1	13.7	79.4	0.8
北部 A	165	5.5	14.5	79.4	0.6
北部 B（北野）	145	4.1	24.1	67.6	4.1
中央東部	253	5.9	17.8	73.1	3.2
南東部	202	4.0	19.8	73.8	2.5
中央部	266	6.0	19.2	73.7	1.1
中央南部	345	7.2	15.9	75.9	0.9
南西部	207	6.3	15.0	75.4	3.4
西部 A（城島）	62	8.1	27.4	62.9	1.6
西部 B（三渚）	148	5.4	17.6	75.0	2.0

【自治会加入状況別】

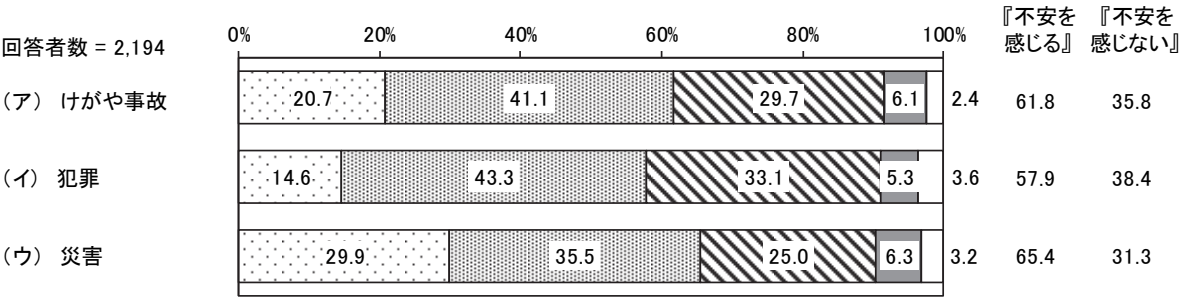
「加入している」で「聞いたことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	取り組んでいる ことを知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全体	2,194	5.6	17.8	74.3	2.2
加入している	1,629	6.6	19.8	71.9	1.8
加入していない	360	3.6	12.5	81.4	2.5
わからない	192	1.0	12.5	84.4	2.1

問 29－１ あなたは、お住まいの地域で、けがや事故、犯罪、災害にあうかもしれない不安を感じていますか。（あてはまる番号それぞれ１つずつ）

すべての項目で「不安を感じる」と「やや不安を感じる」を合わせた『不安を感じる』の割合が高くなっています。また、３項目で比べると、《(イ) 犯罪》で「あまり不安を感じない」と「不安を感じない」を合わせた『不安を感じない』の割合が高くなっています。



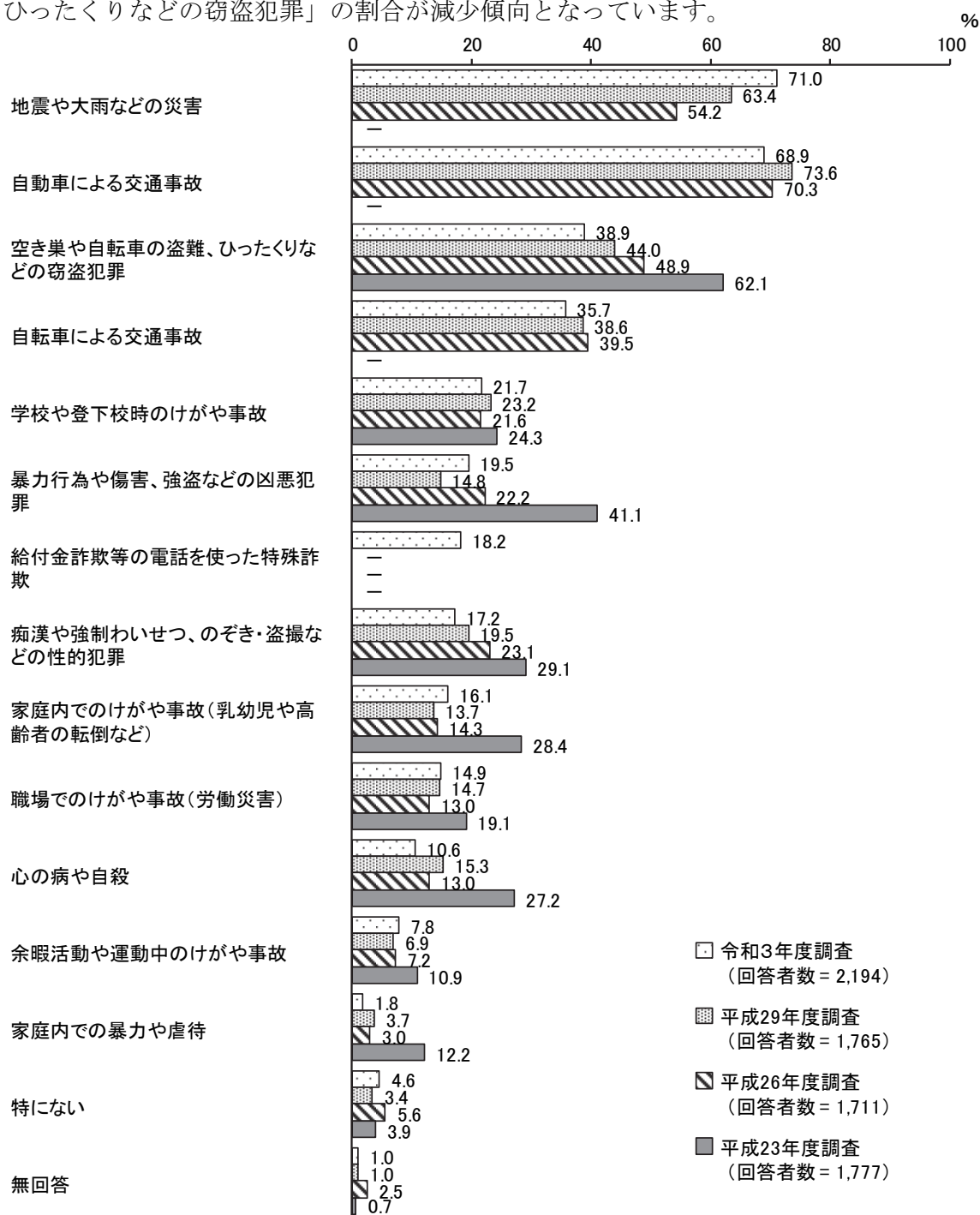
不安を感じる やや不安を感じる あまり不安を感じない 不安を感じない 無回答

問 30－1 あなたやあなたのご家族がふだん生活する中で、不安に感じることは何ですか。（あてはまる番号いくつでも）

「地震や大雨などの災害」の割合が71.0%と最も高く、次いで「自動車による交通事故」の割合が68.9%、「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」の割合が38.9%となっています。

【経年比較】

「地震や大雨などの災害」の割合が増加傾向となっています。一方、「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」の割合が減少傾向となっています。



※平成 29 年度調査、平成 26 年度調査では「給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺」の選択肢はありませんでした。

※平成 23 年度調査では「地震や大雨などの災害」「自動車による交通事故」「自転車による交通事故」「給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺」の選択肢はありませんでした。

【性別】

「男性」に比べ、「女性」で「自動車による交通事故」「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」「家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）」「地震や大雨などの災害」の割合が高くなっています。一方、「女性」に比べ、「男性」で「暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自転車による交通事故	自動車による交通事故	暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪	空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪	給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺	痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪	職場でのけがや事故（労働災害）	余暇活動や運動中のけがや事故	学校や登下校時のけがや事故	家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）	家庭内での暴力や虐待	心の病や自殺	地震や大雨などの災害	特にない	無回答
全体	2,194	35.7	68.9	19.5	38.9	18.2	17.2	14.9	7.8	21.7	16.1	1.8	10.6	71.0	4.6	1.0
男性	939	34.9	66.5	22.2	38.1	19.0	13.2	15.8	7.6	20.8	13.3	2.1	12.6	67.7	5.4	1.0
女性	1,239	36.4	71.0	17.6	39.7	17.7	20.4	14.2	8.1	22.4	18.4	1.5	9.1	73.9	4.0	0.7

【年齢別】

他に比べ、「40 歳代」で「自転車による交通事故」「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」「学校や登下校時のけがや事故」「地震や大雨などの災害」の割合が、「30 歳代」で「自動車による交通事故」「余暇活動や運動中のけがや事故」の割合が高くなっています。また、「18～29 歳」で「職場でのけがや事故（労働災害）」「地震や大雨などの災害」の割合が、「50 歳代」で「自動車による交通事故」「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」「地震や大雨などの災害」の割合が、「65～69 歳」で「給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺」の割合が、「75 歳以上」で「家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自転車による交通事故	自動車による交通事故	暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪	空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪	給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺	痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪	職場でのけがや事故（労働災害）	余暇活動や運動中のけがや事故	学校や登下校時のけがや事故	幼児や高齢者の転倒など	家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）	家庭内での暴力や虐待	心の病や自殺	地震や大雨などの災害	特にない	無回答
全体	2,194	35.7	68.9	19.5	38.9	18.2	17.2	14.9	7.8	21.7	16.1	1.8	10.6	71.0	4.6	1.0	
18～29 歳	171	30.4	67.3	22.2	32.7	11.7	23.4	20.5	8.2	18.1	9.4	2.9	13.5	76.6	6.4	0.6	
30 歳代	253	40.7	71.9	23.7	37.9	14.2	23.3	19.8	12.3	38.3	15.0	2.8	14.2	71.9	3.6	0.4	
40 歳代	368	51.4	67.9	22.8	41.3	13.6	25.5	15.2	8.7	42.7	11.7	2.7	14.7	76.6	3.0	0.8	
50 歳代	382	35.1	72.8	21.2	44.2	19.4	23.0	17.8	6.8	19.1	10.5	1.3	14.9	76.2	3.1	0.5	
60～64 歳	235	28.9	68.5	18.7	40.9	17.4	17.0	16.2	6.4	11.9	17.4	1.7	8.9	70.2	4.3	0.9	
65～69 歳	284	28.2	68.3	16.5	40.5	24.3	7.7	13.0	5.6	11.3	19.0	1.8	6.3	66.9	4.9	0.4	
70～74 歳	293	30.7	64.5	13.3	38.9	20.8	7.2	9.6	9.2	12.3	21.8	1.0	4.8	64.5	6.8	2.0	
75 歳以上	197	33.5	69.5	17.3	26.9	23.9	7.1	6.6	5.1	10.2	28.9	—	4.1	62.9	6.6	2.0	

【同居家族別】

他に比べ、「世帯の中に中学生がいる」で「自転車による交通事故」「痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪」「余暇活動や運動中のけがや事故」「地震や大雨などの災害」の割合が、「世帯の中に就学前の子どもがいる」で「自動車による交通事故」「暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪」「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」「地震や大雨などの災害」の割合が高くなっています。また、「世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる」で「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」の割合が、「世帯の中に65歳以上の人がいる」で「給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺」の割合が、「世帯の中に小学生がいる」で「学校や登下校時のけがや事故」の割合が、「世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる（本人を含みます）」で「家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）」「心の病や自殺」の割合が高くなっています。

単位：％

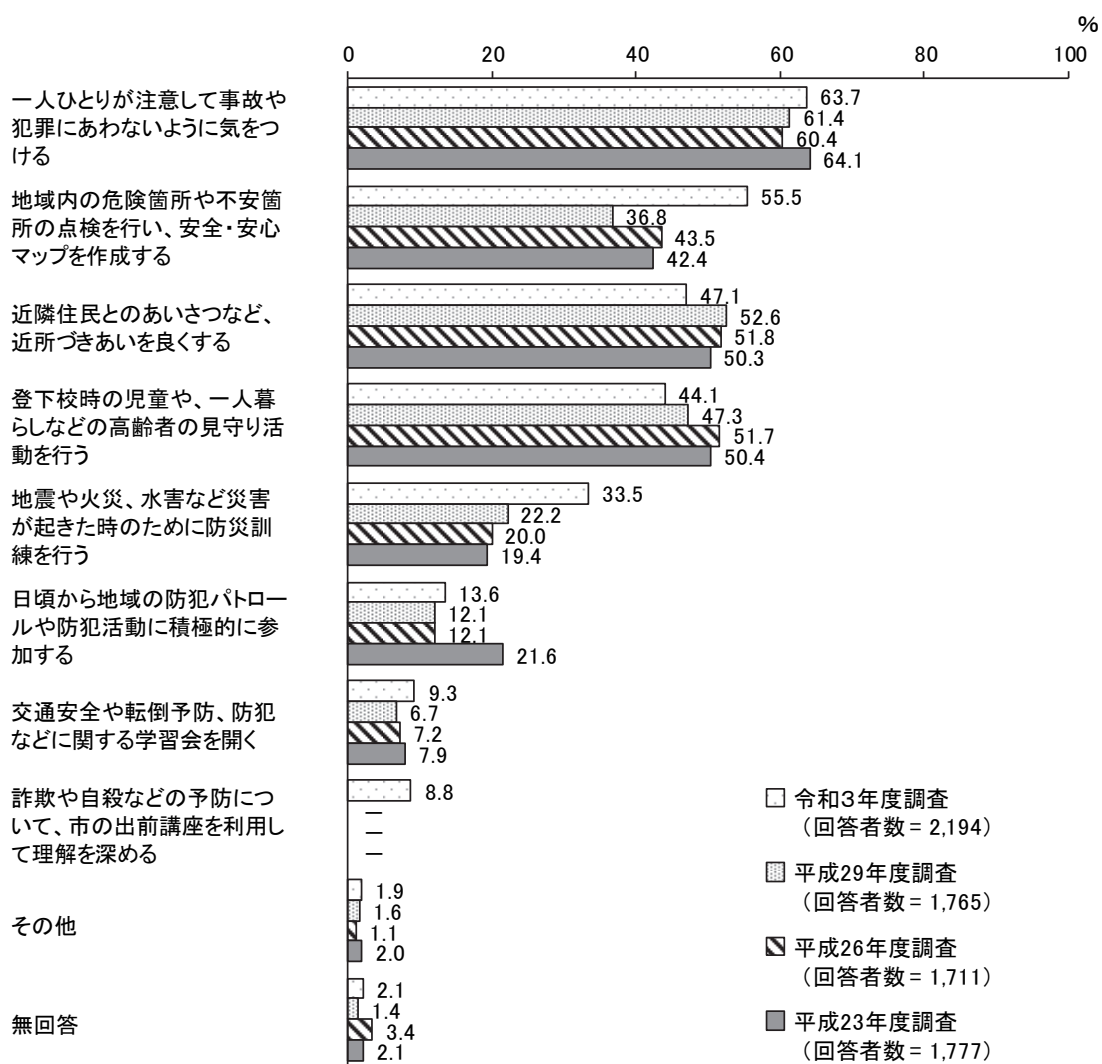
区分	回答者数（件）	自転車による交通事故	自動車による交通事故	暴力行為や傷害、強盗などの凶悪犯罪	空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪	給付金詐欺等の電話を使った特殊詐欺	痴漢や強制わいせつ、のぞき・盗撮などの性的犯罪	職場でのけがや事故（労働災害）	余暇活動や運動中のけがや事故	学校や登下校時のけがや事故	家庭内でのけがや事故（乳幼児や高齢者の転倒など）	家庭内での暴力や虐待	心の病や自殺	地震や大雨などの災害	特にない	無回答
全体	2,194	35.7	68.9	19.5	38.9	18.2	17.2	14.9	7.8	21.7	16.1	1.8	10.6	71.0	4.6	1.0
世帯の中に就学前の子どもがいる	263	42.6	75.7	24.7	41.1	12.9	23.6	18.6	11.8	54.0	20.5	2.7	10.3	74.5	3.4	0.8
世帯の中に小学生がいる	261	64.4	73.9	21.5	38.3	8.4	31.0	16.5	12.3	77.0	8.8	1.9	12.3	72.0	3.1	0.4
世帯の中に中学生がいる	165	70.3	70.3	18.2	40.6	9.7	34.5	18.2	16.4	70.3	9.1	2.4	13.3	74.5	1.8	—
世帯の中に上記以外の18歳未満の子どもがいる	173	60.7	71.1	20.8	41.0	13.3	29.5	17.3	10.4	46.8	9.2	2.9	13.9	70.5	3.5	0.6
世帯の中に65歳以上の人がいる	881	31.7	71.7	18.0	39.4	27.4	12.7	14.2	9.0	14.1	23.2	2.2	8.7	70.0	4.9	1.0
世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる（本人を含みます）	239	32.2	64.4	20.1	37.2	22.2	15.9	14.6	10.9	16.7	25.9	2.5	16.3	69.0	6.7	1.3
世帯に上記にあてはまる人はいない	686	28.3	65.5	20.4	37.9	13.3	16.8	17.1	5.7	8.5	10.1	1.6	11.2	73.9	5.0	0.3

問 30－2 あなたは、けがや事故、犯罪などを防いだり、災害への備えとして、個人や地域で特にどのような取り組みや対策を行うことが必要だと思いますか。
(あてはまる番号いくつでも)

「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が 63.7%と最も高く、次いで「地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する」の割合が 55.5%、「近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする」の割合が 47.1%となっています。

【経年比較】

「地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作製する」「地震や火災、水害などの災害が起きた時のために防災訓練を行う」の割合が増加しています。



※平成 29 年度以前の調査には「詐欺や自殺などの予防について、市の出前講座を利用して理解を深める」の選択肢はありませんでした。

【性別】

「男性」に比べ、「女性」で「登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」「近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする」「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が高くなっています。一方、「女性」に比べ、「男性」で「日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する	登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う	近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする	日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する	交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く	詐欺や自殺などの予防について、市の出前講座を利用して理解を深める	地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う	一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける	その他	無回答
全体	2,194	55.5	44.1	47.1	13.6	9.3	8.8	33.5	63.7	1.9	2.1
男性	939	55.6	40.1	43.9	16.1	10.8	9.5	34.8	57.3	2.4	2.2
女性	1,239	55.3	47.0	49.6	11.8	8.4	8.3	32.7	68.6	1.5	1.9

【性別・年齢別】

他に比べ、「女性の 30 歳代」で「登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」「地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う」の割合が高くなっています。また、「女性の 75 歳以上」で「近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする」の割合が、「男性の 60～64 歳」で「日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する」の割合が、「女性の 18～29 歳」で「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	地域内の危険箇所や不安箇所の点検 を行い、安全・安心マップを作成する	登下校時の児童や、一人暮らしなど の高齢者の見守り活動を行う	近隣住民とのあいさつなど、近所づ きあいを良くする	日頃から地域の防犯パトロールや防 犯活動に積極的に参加する	交通安全や転倒予防、防犯などに関 する学習会を開く	詐欺や自殺などの予防について、市 の出前講座を利用して理解を深める	地震や火災、水害など災害が起きた 時のために防災訓練を行う	一人ひとりが注意して事故や犯罪に あわないように気をつける	その他	無回答
全体	2,194	55.5	44.1	47.1	13.6	9.3	8.8	33.5	63.7	1.9	2.1
男性 18～29 歳	71	53.5	31.0	23.9	15.5	9.9	9.9	32.4	54.9	2.8	1.4
30 歳代	105	44.8	32.4	37.1	16.2	11.4	9.5	35.2	50.5	1.0	1.9
40 歳代	153	56.2	52.9	47.7	20.9	15.0	9.8	39.9	54.2	5.2	3.3
50 歳代	161	55.9	37.3	34.2	13.0	10.6	11.8	37.9	59.6	1.9	1.9
60～64 歳	95	57.9	38.9	38.9	28.4	11.6	11.6	28.4	55.8	3.2	2.1
65～69 歳	132	56.8	34.8	51.5	12.9	10.6	9.8	34.8	58.3	3.0	0.8
70～74 歳	130	58.5	42.3	53.1	12.3	6.9	3.8	31.5	63.1	1.5	3.1
75 歳以上	91	60.4	46.2	59.3	11.0	8.8	9.9	34.1	60.4	—	2.2
女性 18～29 歳	99	48.5	35.4	41.4	16.2	11.1	10.1	42.4	74.7	—	2.0
30 歳代	148	48.6	58.8	48.6	16.2	8.8	8.8	47.3	62.8	1.4	—
40 歳代	214	53.7	54.2	45.8	16.4	8.4	9.8	35.0	67.8	3.3	1.4
50 歳代	221	54.8	45.7	44.8	11.8	10.4	8.6	30.8	61.1	1.8	1.4
60～64 歳	140	62.1	45.0	47.9	9.3	5.0	7.9	30.0	72.9	1.4	0.7
65～69 歳	151	59.6	42.4	53.0	6.0	9.3	7.9	23.2	70.2	0.7	2.6
70～74 歳	161	59.0	49.1	55.9	7.5	6.2	5.6	30.4	74.5	—	3.7
75 歳以上	105	54.3	35.2	64.8	10.5	7.6	7.6	22.9	71.4	1.9	3.8

【ブロック別】

他に比べ、「東部 A」で「地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する」の割合が、「中央東部」で「登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う」の割合が高くなっています。また、「西部 A（城島）」で「近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする」「交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く」の割合が、「東部 B（田主丸）」で「日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する」「交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く」「詐欺や自殺などの予防について、市の出前講座を利用して理解を深める」の割合が、「中央南部」で「交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く」の割合が、「北部 B（北野）」で「地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う」の割合が、「中央部」で「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が、「南西部」で「一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	地域内の危険箇所や不安箇所の点検を行い、安全・安心マップを作成する	登下校時の児童や、一人暮らしなどの高齢者の見守り活動を行う	近隣住民とのあいさつなど、近所づきあいを良くする	日頃から地域の防犯パトロールや防犯活動に積極的に参加する	交通安全や転倒予防、防犯などに関する学習会を開く	詐欺や自殺などの予防について、市の出前講座を利用して理解を深める	地震や火災、水害など災害が起きた時のために防災訓練を行う	一人ひとりが注意して事故や犯罪にあわないように気をつける	その他	無回答
全体	2,194	55.5	44.1	47.1	13.6	9.3	8.8	33.5	63.7	1.9	2.1
東部 A	144	62.5	47.2	52.1	12.5	10.4	6.9	41.7	66.0	2.8	—
東部 B（田主丸）	131	53.4	48.1	48.9	18.3	11.5	13.7	41.2	60.3	—	1.5
北部 A	165	51.5	46.7	44.2	13.3	9.1	7.9	40.0	64.8	3.6	0.6
北部 B（北野）	145	55.2	40.7	46.2	13.8	7.6	9.0	46.2	54.5	2.1	3.4
中央東部	253	55.3	49.0	46.2	14.2	9.5	7.9	30.0	58.5	4.7	2.4
南東部	202	55.9	41.6	49.0	13.9	10.4	9.4	30.2	60.4	0.5	2.5
中央部	266	54.1	45.5	44.7	13.5	10.9	10.5	37.6	67.7	1.5	0.8
中央南部	345	59.4	45.2	47.0	11.9	11.0	9.9	30.1	66.7	0.9	2.9
南西部	207	50.7	38.2	44.4	13.5	6.3	7.7	26.6	67.6	1.9	2.4
西部 A（城島）	62	50.0	41.9	53.2	16.1	11.3	12.9	41.9	62.9	—	—
西部 B（三瀬）	148	60.8	47.3	48.0	13.5	5.4	4.7	25.7	59.5	2.0	1.4

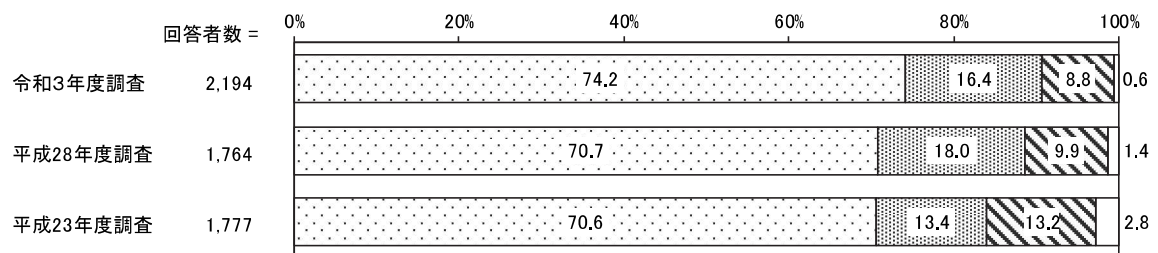
(6) 地域コミュニティ活動について

問 25 あなたは、居住している地域の自治会に加入していますか。
(あてはまる番号1つだけ)

「加入している」の割合が74.2%と最も高く、次いで「加入していない」の割合が16.4%となっています。

【経年比較】

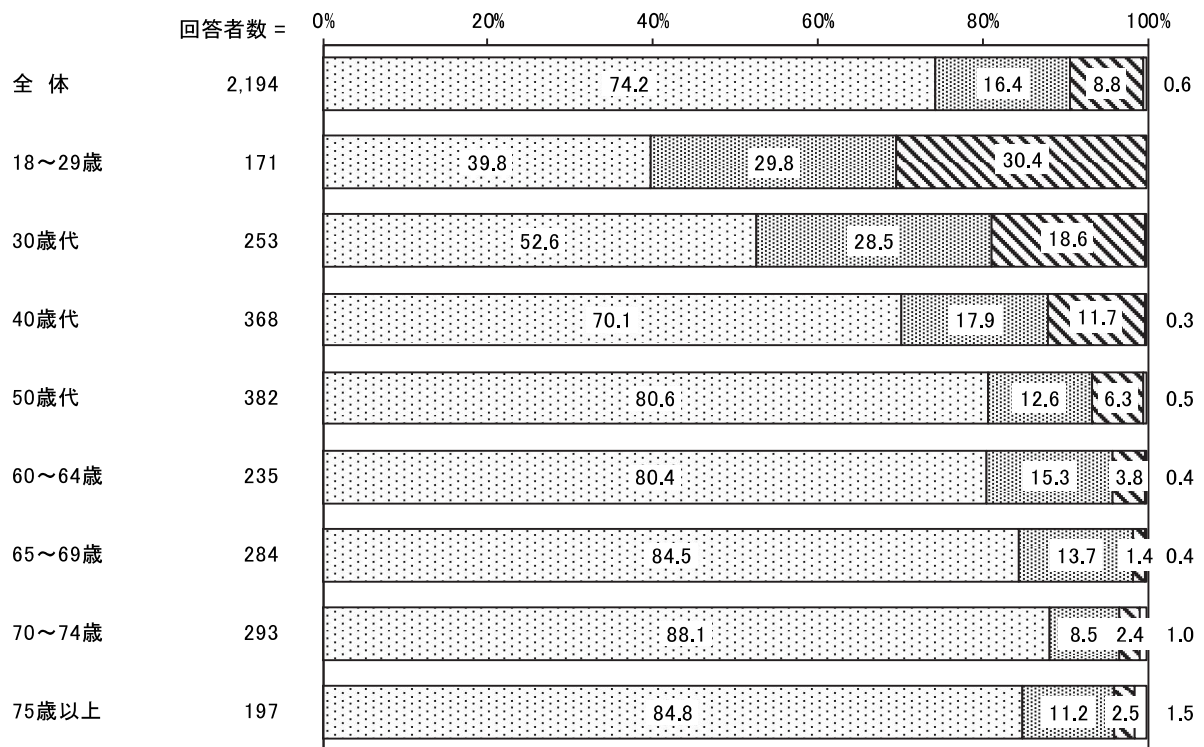
経年比較では、「加入している」の割合は平成23年度調査と平成28年度調査はほぼ同水準でしたが、今回の調査では3.5ポイント高くなっています。



□ 加入している ■ 加入していない ▨ わからない □ 無回答

【年齢別】

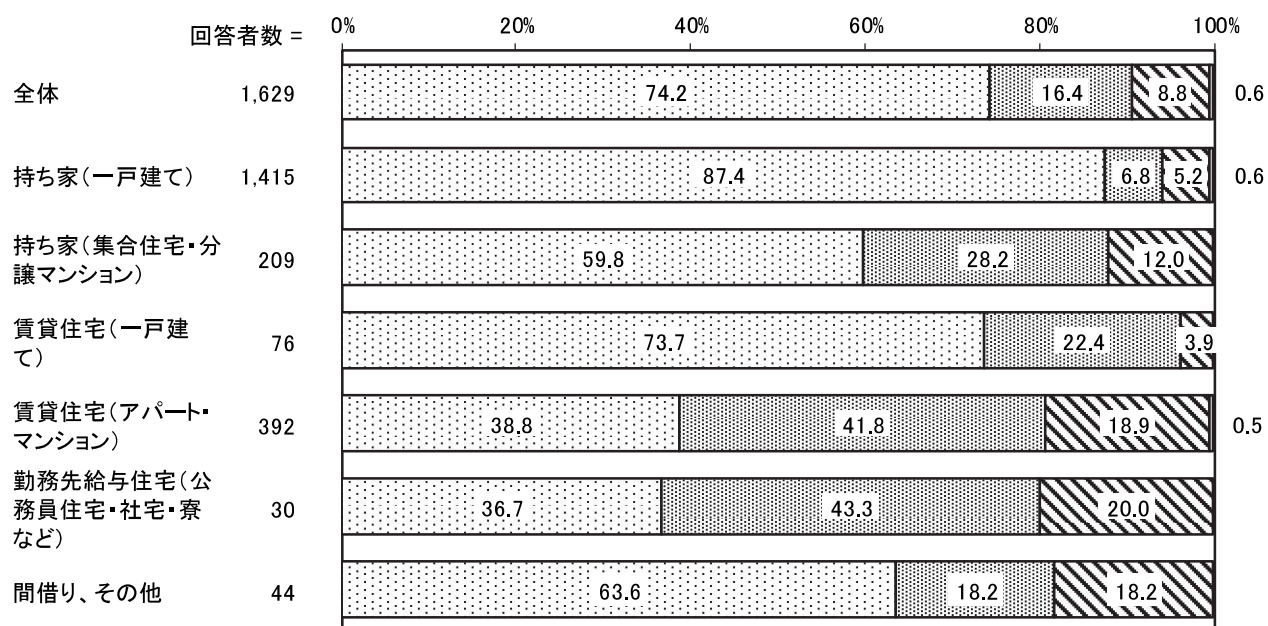
年齢が高くなるほど「加入している」の割合が高くなる傾向がみられます。



□ 加入している ■ 加入していない ▨ わからない □ 無回答

【住居形態別】

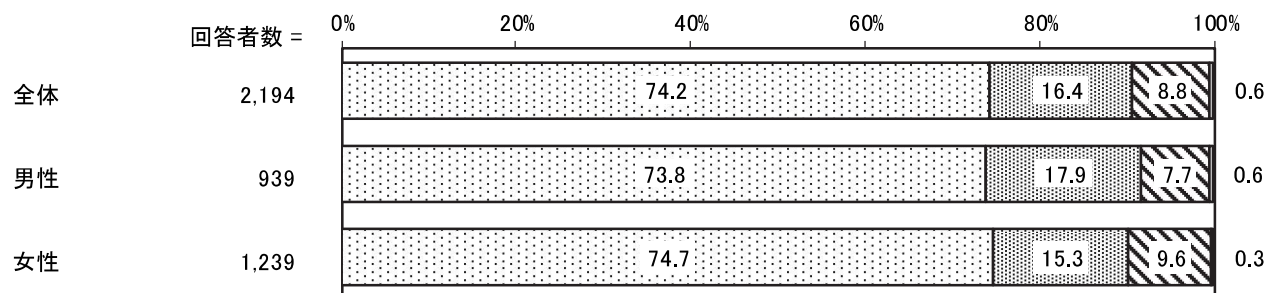
他に比べ、「持ち家（一戸建て）」で「加入している」の割合が、「賃貸住宅（アパート・マンション）」や「勤務先給与住宅（公務員住宅・社宅・寮など）」で「加入していない」の割合が高くなっています。



□ 加入している ■ 加入していない ▨ わからない □ 無回答

【性別】

大きな差異はみられません。



□ 加入している ■ 加入していない ▨ わからない □ 無回答

【性別・年齢別】

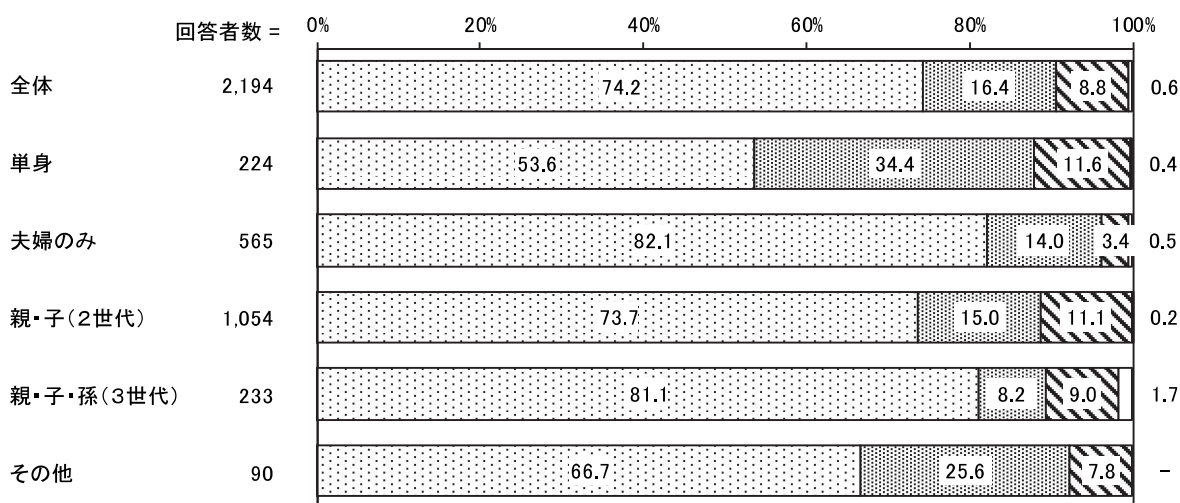
他に比べ、「女性の18～29歳代」で「わからない」の割合が高く、「加入している」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	加入している	加入していない	わからない	無回答
全体	2,194	74.2	16.4	8.8	0.6
男性 18～29 歳	71	42.3	32.4	25.4	—
30 歳代	105	51.4	32.4	15.2	1.0
40 歳代	153	71.2	17.0	11.1	0.7
50 歳代	161	78.9	15.5	5.0	0.6
60～64 歳	95	75.8	16.8	6.3	1.1
65～69 歳	132	82.6	15.2	2.3	—
70～74 歳	130	86.2	10.8	1.5	1.5
75 歳以上	91	86.8	11.0	2.2	—
女性 18～29 歳	99	37.4	28.3	34.3	—
30 歳代	148	53.4	25.7	20.9	—
40 歳代	214	69.6	18.2	12.1	—
50 歳代	221	81.9	10.4	7.2	0.5
60～64 歳	140	83.6	14.3	2.1	—
65～69 歳	151	86.1	12.6	0.7	0.7
70～74 歳	161	90.1	6.8	3.1	—
75 歳以上	105	83.8	11.4	2.9	1.9

【家族構成別】

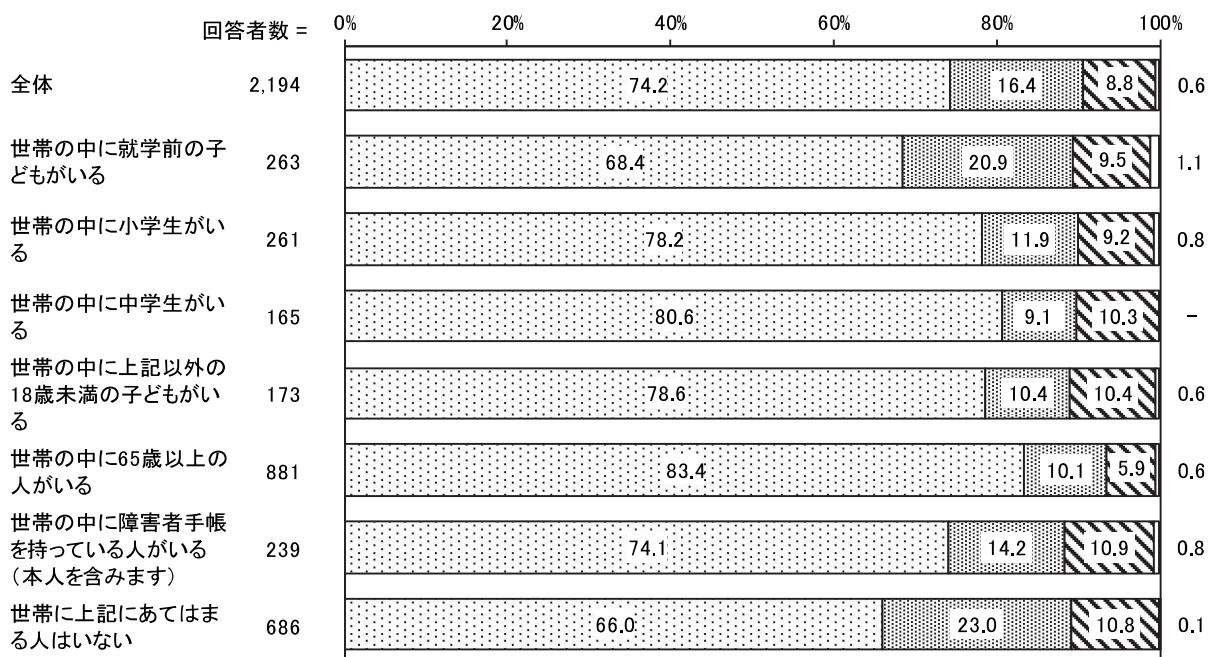
他に比べ、「夫婦のみ」、「親・子・孫（3世代）」で「加入している」の割合が、「単身」で「加入していない」の割合が高くなっています。



□ 加入している ■ 加入していない ▨ わからない □ 無回答

【同居家族別】

他に比べ、「世帯の中に65歳以上の人がいる」で「加入している」の割合が、「世帯の中に就学前の子どもがいる」で「加入していない」の割合が高くなっています。



□ 加入している ■ 加入していない ▨ わからない □ 無回答